

もくじ .....	1
はじめに .....	4
本書の読みかた .....	6
<b>1章 パソコンの準備 .....</b>	<b>9</b>
<b>1 同梱品の確認 .....</b>	<b>10</b>
<b>2 各部の名称と機能 .....</b>	<b>12</b>
1 本体正面 .....	12
2 本体背面 .....	14
3 マウス .....	16
<b>3 接続について .....</b>	<b>17</b>
1 接続完成図 .....	17
2 ケーブルカバーの取り付け .....	18
3 ディスプレイ（別売り）の接続 .....	19
4 マウスの接続 .....	23
5 キーボードの接続 .....	23
6 電源への接続 .....	24
<b>4 初めて電源を入れるときは .....</b>	<b>25</b>
1 電源を入れる .....	25
2 Windows 2000 のセットアップ .....	26
3 Windows 98 のセットアップ .....	34
4 ユーザ登録をする .....	40
<b>2章 電源の入れかたと切りかた .....</b>	<b>41</b>
<b>1 電源の入れかた .....</b>	<b>42</b>
<b>2 電源の切りかた .....</b>	<b>43</b>
1 Windows 2000 の場合 .....	43
2 Windows 98 の場合 .....	43
<b>3 省電力機能について .....</b>	<b>44</b>
1 省電力機能について .....	44
2 省電力モードについて .....	45
3 省電力モードへの移行（Windows 2000） .....	46
4 省電力モードへの移行（Windows 98） .....	48
5 省電力モードからの復帰 .....	49

<b>3章</b>	<b>ハードウェアについて</b> .....	<b>51</b>
<b>1</b>	キーボード .....	52
<b>2</b>	CD-ROMドライブ／CD-R/RWドライブ .....	56
<b>3</b>	PCカード .....	60
<b>4</b>	フロッピーディスクドライブ .....	66
<b>5</b>	電話回線への接続 .....	68
<b>6</b>	i.LINK (IEEE1394) 対応機器の接続 .....	71
<b>7</b>	機器の拡張を行うときは .....	74
<b>8</b>	本体カバーの取りはずし／取り付け .....	76
<b>9</b>	増設メモリ .....	79
<b>4章</b>	<b>パソコンの取り扱い</b> .....	<b>83</b>
<b>1</b>	日常の取り扱いについて .....	84
<b>2</b>	内蔵バッテリーの交換 .....	89
<b>5章</b>	<b>リカバリCD／カスタム・リカバリCDの使いかた</b> .....	<b>91</b>
<b>1</b>	リカバリCD／カスタム・リカバリCDとは .....	92
1	リカバリCDとは (Windows 2000モデル) .....	92
2	カスタム・リカバリCDとは (Windows 98モデル) .....	92
<b>2</b>	標準システムを復元する .....	93
1	準備 .....	93
2	操作手順 .....	93
<b>3</b>	最小構成でシステムを復元する (Windows 98モデル) .....	99
1	準備 .....	99
2	操作手順 .....	99
<b>4</b>	アプリケーションを再インストールする (Windows 98モデル) ....	102
1	操作手順 .....	102
<b>6章</b>	<b>困ったときは</b> .....	<b>103</b>
<b>1</b>	困ったときのQ&A .....	104

<b>7章</b>	<b>BIOS セットアップについて</b> .....	<b>115</b>
<b>1</b>	BIOS セットアップとは .....	116
	1 BIOS セットアップの起動方法 .....	116
	2 BIOS セットアップの操作方法 .....	116
	3 BIOS セットアップの内容 .....	118
<b>2</b>	BIOS を工場出荷時設定に戻すには .....	120
<b>3</b>	Standard CMOS Setup の詳細 .....	123
<b>4</b>	Advanced CMOS Setup の詳細 .....	125
<b>5</b>	Power Management Setup の詳細 .....	128
<b>6</b>	PCI/Plug and Play Setup の詳細 .....	131
<b>7</b>	Peripheral Setup の詳細 .....	132
<b>8</b>	Auto-Detect Hard Disks .....	133
<b>9</b>	Password の設定 .....	134
	<b>付録</b> .....	<b>137</b>
<b>1</b>	製品仕様 .....	138
<b>2</b>	各インタフェース .....	142
<b>3</b>	エラーメッセージ .....	145
<b>4</b>	技術基準適合について .....	146
<b>5</b>	トラブルチェックシート .....	148

# はじめに

このたびは、本製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本書は本製品の基本的な取り扱い方を説明しています。

本製品はご購入のモデルにより、システム（OS）が異なります。ご購入のモデルに対応した部分をお読みください。

本製品を安心してお使いいただくために重要な事項が添付の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。よくお読みください。

## ● 記載について

- ・ 本書に記載している画面は、表示例です。実際に表示される画面と異なる場合があります。
- ・ 本書に記載しているイラストはモデム内蔵モデルです。

## ● Trademarks

- ・ Intel、Pentium、Celeron、LANDesk は Intel Corporation の商標または登録商標です。
- ・ VGA、EGA は米国 International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
- ・ Microsoft、MS-DOS、Windows、Bookshelf は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Ethernet、Fast Ethernet は富士ゼロックス社の商標または登録商標です。
- ・ i.LINK と i.LINK ロゴは商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標または登録商標として使用している場合があります。

## ● 著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者及び著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切にご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

## ● お願い

- 記憶装置（ハードディスク、フロッピーディスク）や、CD-R、CD-RWに記憶された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。
- 購入時に決められた条件以外での、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。お取り扱いにはご注意願います。
- 本製品でサポートしているシステム（OS）は次のとおりです。
  - ・ Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版
  - ・ Microsoft® Windows® 98 SECOND EDITION operating system 日本語版上記以外のシステム（OS）は動作の保証を行っておりません。

お使いになる前に本体同梱の東芝パソコンお客様登録カードに必要事項をご記入のうえ、返送してください。


保証書は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。


## ● 参照マニュアル

- 本装置で使用するオペレーティングシステム（OS）の説明については、各システムに付属の『ファーストステップガイド』または『クイックスタートガイド』または『Windows のヘルプ』をご覧ください。
- Intel LANDesk Client Managerの説明については、次の方法をご覧ください。
  - Windows 2000 モデル : アプリケーション CD-ROM をセットし、表示された画面から「LANDesk Client Manager の readme を開く」をクリックする
  - Windows 98 モデル : Intel LANDesk Client Manager CD-ROM 内の「Readme.doc」を開く
- ご購入のモデルによって、次のアプリケーションをご用意しています。
  - ・ Microsoft® Office XP Personal
  - ・ Easy CD Creator
  - ・ DirectCDそれぞれの説明については、それぞれの『アプリケーションソフトに付属の説明書』をご覧ください。

# 本書の読みかた

## 記号の意味

 **警告** ・誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う可能性があることを示しています。

 **注意** ・誤った取り扱いをすると、人が傷害\*1を負う可能性、または、物的損害\*2のみが発生する可能性のあることを示しています。

- \*1：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさす。
- \*2：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害をさす。




お願い

・データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしいこと、仕様や機能に関して知っておいてほしいことです。



メモ

・知っておくと便利なことを説明しています。

 参照先を示しています。

本書内の参照先は「」で示し、他の説明書の参照先は『』で示しています。

(注) 補足説明をしています。

## 画面の表しかた

画面の全部、または一部を表します。


【例】


Total = XXXX KB

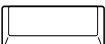
このように画面上または本文中の文字を X で表している場合は、実際にはさまざまな数字や記号が入ります。

## 入力するキーの表現

操作で入力するキーを本文中で表すときには、説明に必要な部分だけを□で囲んで示しています。

Y キーを押す .....  を押してください。

I キーを押す .....  を押してください。

Space キーを押す .....  を押してください。

## ● 操作の表しかた

操作や作業は、次のように示します。

### 【例】

操作が1つで済む場合は、次のように示します。

### **Y** キーを押す

キーを「+」でつないで書いてあるときは、前のキーを押したまま離さずに次のキーを押してください。

### **Ctrl** + **Alt** + **Delete** キーを押す

**Ctrl** キーと **Alt** キーを押したまま **Delete** キーを押します。

## ● 用語について

本書では、次の用語について定義します。

- システム ..... 特に説明がない場合は、ご使用になるオペレーティングシステム (OS) を示します。
- Windows 2000 ..... Microsoft® Windows®2000 Professional operating system 日本語版を示します。
- Windows 98 ..... Microsoft® Windows®98 SECOND EDITION operating system 日本語版を示します。
- Windows ..... Windows 2000、Windows 98 を示します。
- MS-IME ..... Microsoft® IME スタンダード 2002、Microsoft® IME 2000、Microsoft® IME 98 を示します。
- PCI LAN インタフェース ... 特に説明がない場合は、パソコン本体に実装されている 10BASE-T および 100BASE-TX 対応の LAN インタフェースを示します。
- アプリケーションまたはアプリケーションソフト  
..... アプリケーションソフトウェアを示します。
- CD-ROM モデル ..... CD-ROM ドライブが内蔵されているモデルを示します。
- CD-R/RW モデル ..... CD-R/RW ドライブが内蔵されているモデルを示します。
- モデム内蔵モデル ..... モデムが内蔵されているモデルを示します。
- アプリケーションモデル... Microsoft® Office XP Personal がブレイインストールされているモデルを示します。





# 1

## パソコンの準備

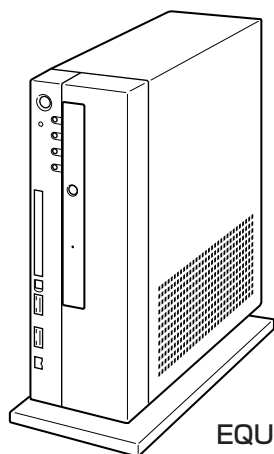
本章では、パソコンの電源を入れる前に、必要な準備と「Windows セットアップ」について説明します。

<b>1</b>	同梱品の確認 .....	10
<b>2</b>	各部の名称と機能 .....	12
<b>3</b>	接続について .....	17
<b>4</b>	初めて電源を入れるときは .....	25

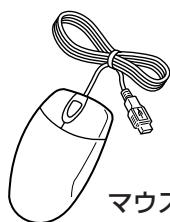
# 1 同梱品の確認

主な同梱物を次にあげます。添付の『付属品チェックリスト』にて梱包箱の中の付属品をご確認ください。

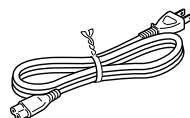
万一、本製品に不都合な点が生じた場合は、東芝営業窓口または、『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションまでご連絡ください。



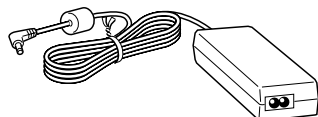
EQUIUM本体



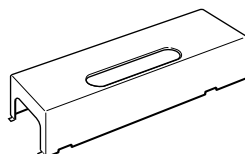
マウス



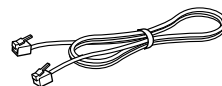
電源コード



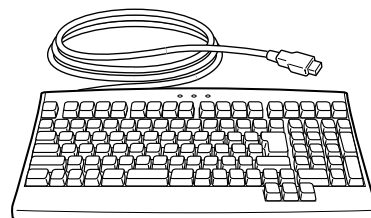
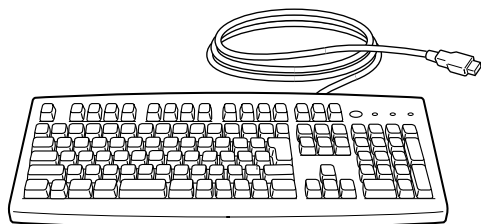
ACアダプタ



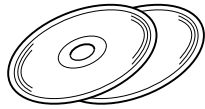
ケーブルカバー



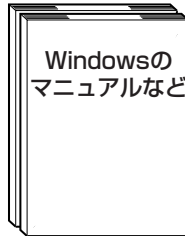
モジュラーケーブル  
\* モデム内蔵モデルのみ



109Aキーボード または テンキー付き小型キーボード  
\* ご購入のモデルによって異なります。



リカバリ用CD-ROMなど  
詳細は『付属品チェックリスト』をご覧ください。



その他の説明書、ご案内など  
・安心してお使いいただくために  
・保守サービスのご案内  
・ソフトウェア使用許諾書  
・付属品チェックリスト  
・保証書  
など

(注) この他にも、同梱物があります。『付属品チェックリスト』をご覧ください。

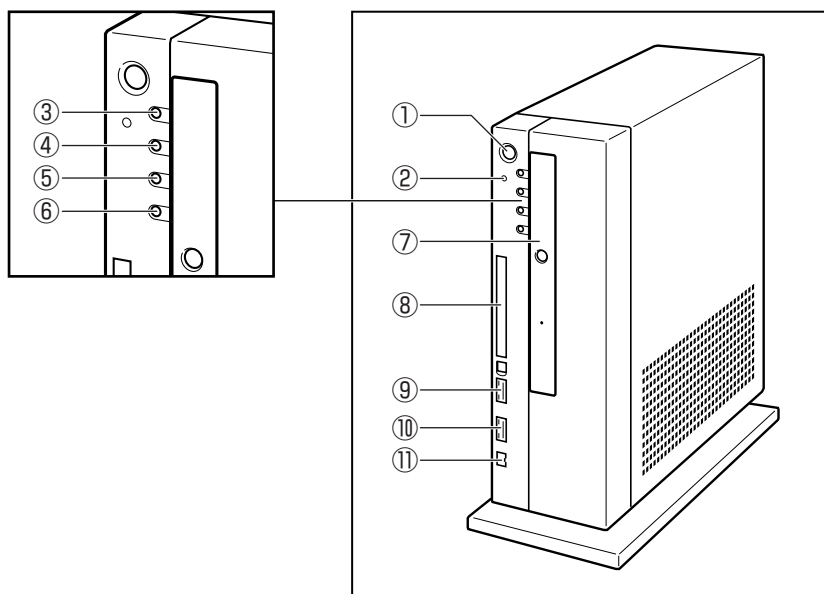


メモ

- ・ Windows 2000 モデルに同梱されるアプリケーション CD には、Windows 2000 でご利用になれるドライバおよびアプリケーションが入っています。「Intel LANDesk Client Manager」もアプリケーション CD に含まれています。アプリケーション CD の詳細については、アプリケーション CD をセットし、表示される初期画面をご覧ください。
- ・ システムを Windows 98 から、Windows 2000 に変更する場合は、同システムの市販品の購入が必要です。本製品に対応のドライバは東芝 PC 総合情報サイト [<http://dynabook.com/>] に掲載予定です。ただし、対応可能な機能には制限があります。

## 2 各部の名称と機能

### 1 本体正面




**注意**

・スイッチ類を強く押し込まないでください。

本体が壊れるおそれがあります。

通常モードから省電力モードへの切り替えおよび省電力モードの解除には、多少時間がかかります（システムの状態によって異なります）。

#### ①電源スイッチ

パソコン本体の電源を入れるためのスイッチです。電源を入れるときは、電源スイッチを押し、④の電源ランプ  が点灯したことを確認してから離します。

Windows が起動した状態で押し、省電力モードになったり、省電力モードから復帰したりします。4 秒以上押し続けた場合は強制的に電源が切られます。強制的に電源が切られると、作成中のデータは消失します。

 電源の入れかた／切りかたについて ⇨ 「2 章 電源の入れかたと切りかた」

#### ②リセットスイッチ

電源を入れた直後の初期状態にするスイッチです。先の細いもので押ししてください。



お願い

・システムが操作不能になったとき以外は使用しないでください。

#### ③DC IN ランプ

電源コードを接続しているときに緑色に点灯します。


#### ④電源ランプ

電源が ON のとき緑色に点灯します。

パソコン本体がスタンバイモードのときは緑色に点滅します。



お願い

- ・電源ランプ  が緑色に点滅しているときは電源スイッチを 4 秒以上押さないでください。このとき、パソコン本体は省電力モードになっています。ディスプレイの画面には何も表示されませんが、実際には電源が入っていますので、電源スイッチを 4 秒以上押すと強制的に電源が切れ、作成中のデータが消失します。


 省電力モードについて ⇨ 「2 章 3 省電力機能について」

#### ⑤HDD アクセスランプ

ハードディスクドライブの読み書きが行われているときに緑色に点灯します。



お願い

- ・電源が入っている状態で本体に衝撃、振動を与えないでください。HDD アクセスランプ  が消灯していてもハードディスクドライブのヘッドはデータエリアにあります。
- ・パソコン本体の電源を切るとハードディスクドライブのヘッドが自動的に退避されます。ただしハードディスクドライブが停止するまでには、約 30 秒かかります。電源を切って 30 秒以上経過してから本体を移動してください。衝撃によってデータエリアを破壊するおそれがあります。

#### ⑥CD アクセスランプ

CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブにアクセスしているときに、緑色に点灯します。

#### ⑦CD-ROM ドライブ／CD-R/RW ドライブ

内蔵されているドライブの種類は、ご購入のモデルによって異なります。

 「3 章 2 CD-ROM ドライブ／CD-R/RW ドライブ」

#### ⑧PC カードスロット

PC Card Standard 準拠の TYPE II 対応のカード（Card Bus 対応カードも含む）を接続します。

 「3 章 3 PC カード」

#### ⑨USB コネクタ 1

USB 対応機器を接続します。

#### ⑩USB コネクタ 2

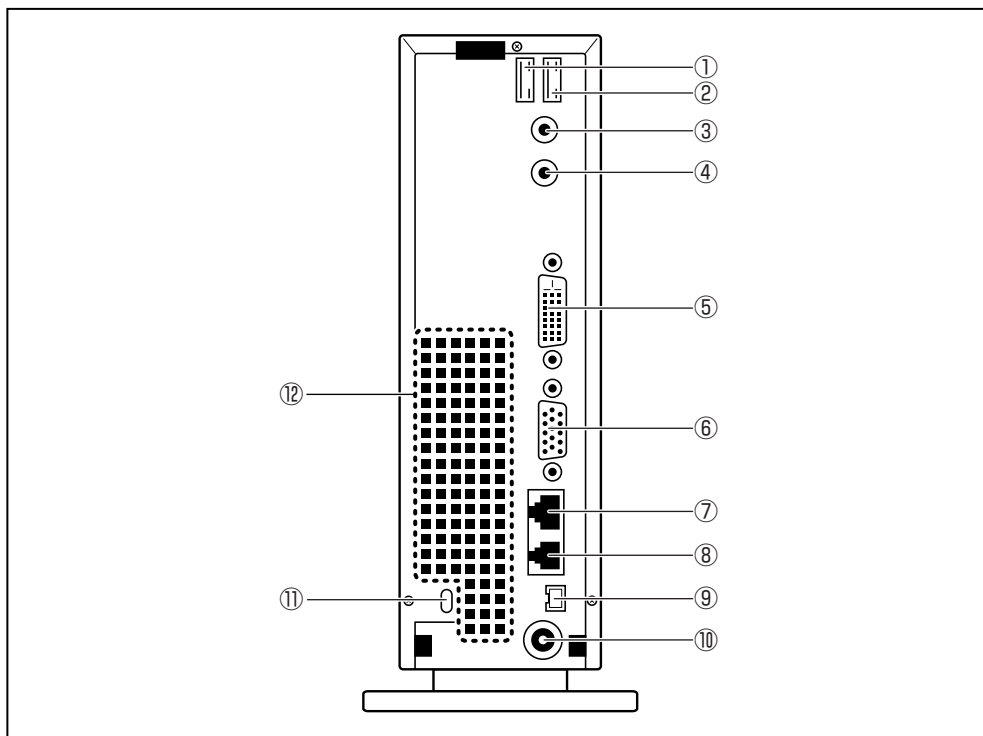
USB 対応機器を接続します。


#### ⑪i.LINK (IEEE1394) コネクタ

i.LINK (IEEE1394) 対応機器を接続します。


 「3 章 6 i.LINK (IEEE1394) 対応機器の接続」

## 2 本体背面



① USB コネクタ 3 

USB 対応機器が接続できます。

② USB コネクタ 4 

USB 対応機器が接続できます。

③ マイク端子 

3.5 φ mm モノラルミニジャックタイプのマイクが接続できます（本製品にマイクは付属していません。パソコン用コンデンサマイクをお買い求めください）。

④ LINE OUT 端子 

3.5 φ mm ステレオミニジャックタイプのスピーカが接続できます（本製品にはスピーカは付属していません。アンプ付きスピーカをお買い求めください）。

⑤ DVI-D コネクタ **DVI**

DVI 準拠のディスプレイをつなげるためのコネクタです。他社製デジタル RGB ディスプレイにつなげた場合、正常に表示できない場合があります。

☞ 「本章 3-3 ディスプレイ（別売り）の接続」

⑥ アナログ RGB コネクタ 

アナログ RGB ディスプレイを接続します。

☞ 「本章 3-3 ディスプレイ（別売り）の接続」

**⑦ LAN コネクタ**

ネットワークケーブルを接続します。ネットワーク管理者の指示に従って、ネットワークの設定を行なってください。

**⑧ モジュージャック**

\*モデム内蔵モデルのみ

モジュラーケーブルで本体を電話回線に接続し、モデム機能を使用します。

☞ 「3 章 5 電話回線への接続」

**⑨ i.LINK (IEEE1394) コネクタ**

i.LINK (IEEE1394) 対応機器を接続します。

☞ 「3 章 6 i.LINK (IEEE1394) 対応機器の接続」

**⑩ DC ジャック**

AC アダプタを接続します。

☞ 「本章 3-6 電源への接続」

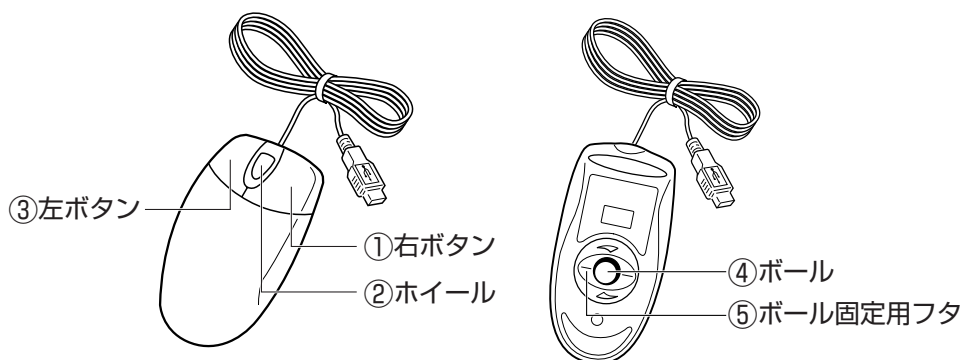
**⑪ セキュリティロックスロット**

市販の盗難防止用チェーンロック等を取り付けます。

**⑫ 通風孔**

本体内部で発生する熱を放出します。ふさがないでください。

## 3 マウス



### ①右ボタン

操作を取り消したり、文字やアイコンのコピーを行います（アプリケーションにより、機能が異なります）。

### ②ホイール

画面のスクロールなどができます（ホイール付きマウス対応のアプリケーションで使用できます）。

### ③左ボタン

文字やアイコンを選択することができます（アプリケーションにより、機能が異なります）。

### ④ボール

マウスの中に入っています。ボールが転がる方向に合わせて画面上のマウスポインタが移動します。

### ⑤ボール固定用フタ

ボールが飛び出さないように押さえているフタです。マウスのお手入れのときのみ、取りはずしてください。



# 3 接続について

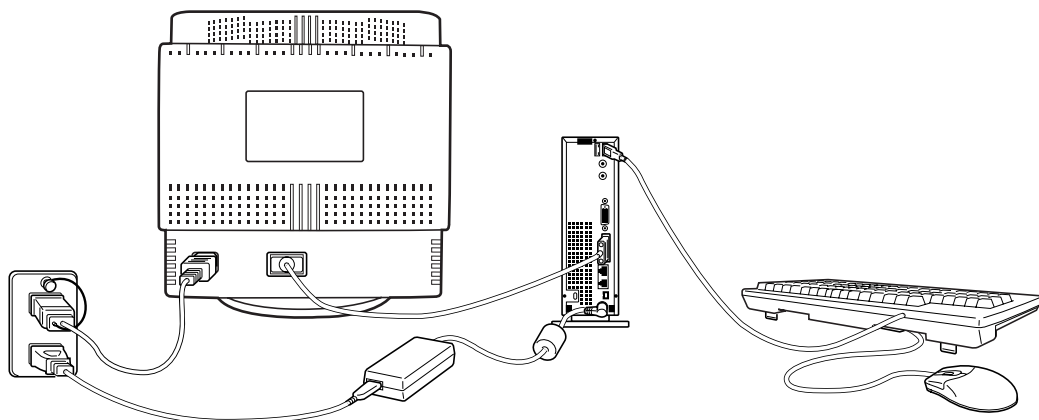
ケーブル類を接続する際には、次のことにご注意ください。

- 本体および接続する機器の電源を切るか、または電源スイッチを OFF にする
- ケーブル類の取り付け／取りはずしは、必ずコネクタを持って行う
- コネクタの形状に注意して挿入し、コネクタに固定ネジがある場合はしっかりと固定する
- 次のものは、システムのセットアップが終了してから接続する
  - ・ モジュラーケーブル
  - ・ LAN ケーブル
  - ・ 増設メモリ
  - ・ プリンタなどの周辺機器

**注意** ・ケーブル類を本体に接続した状態で、ケーブル類に負荷（無理に引っ張るなど）をかけたください。ケーブル類の破損および、本体の故障の原因となります。

## 1 接続完成図

EQUIUM を接続した例を次に示します。



(注) EQUIUM にディスプレイは同梱されておりません。

## ② ケーブルカバーの取り付け

本装置にはケーブルカバーが付属されています。

ケーブルカバーを取り付けることにより、本体背面に接続したケーブル類をすっきりとまとめることができます。

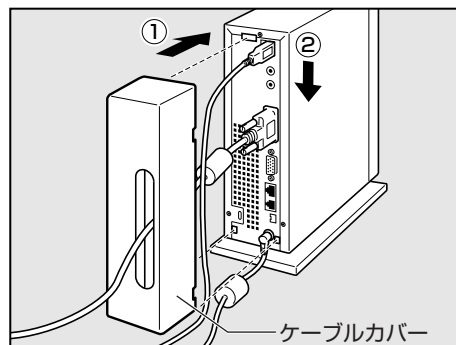
ケーブルカバーの取り付けは、その他の付属品を本体に接続しながら行います。

ここでは、ケーブルカバーの取り付け手順のみを説明します。

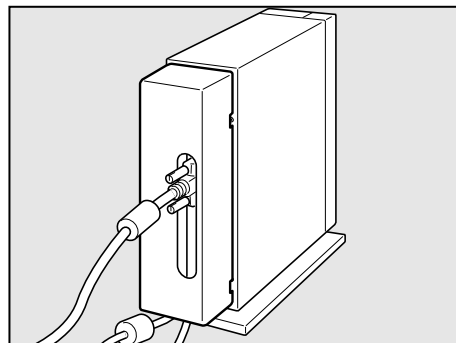
### ● 取り付け方法

\*イラストはデジタル RGB 信号ケーブルの場合です。

- 1** ディスプレイを接続するとき、RGB ケーブルまたはデジタル RGB 信号ケーブルをケーブルカバーの穴に通す  
☞ 「本節 3 ディスプレイ（別売り）の接続」
- 2** キーボードのケーブルと AC アダプタのケーブルをケーブルカバーの下から出す  
☞ 「本節 6 電源への接続」
- 3** パソコン本体の溝にケーブルカバーのツメを合わせ①、下に引いて取り付ける②



### ● 取り付け完成図



### 3 ディスプレイ（別売り）の接続

接続の際は『ディスプレイに付属の説明書』をご覧くださいのうえ、作業を行なってください。ディスプレイは必ず接続してください。



お願い

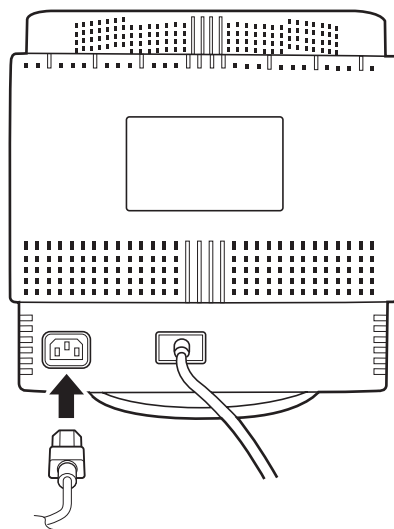
- ・電源コードは、必ず付属の電源コードをお使いください。市販の電源コードや他の電気製品の電源コードには、形状が同じでも定格電圧・電流が異なるものがあります。
- ・電源コードのプラグから出ているアース線は、安全のため必ずアース端子に接続してください。万一漏電した場合の感電を防止します。
- ・電源コードを接続する場合は、(1)アース線、(2)プラグの順に行なってください。

### アナログ RGB ディスプレイの接続

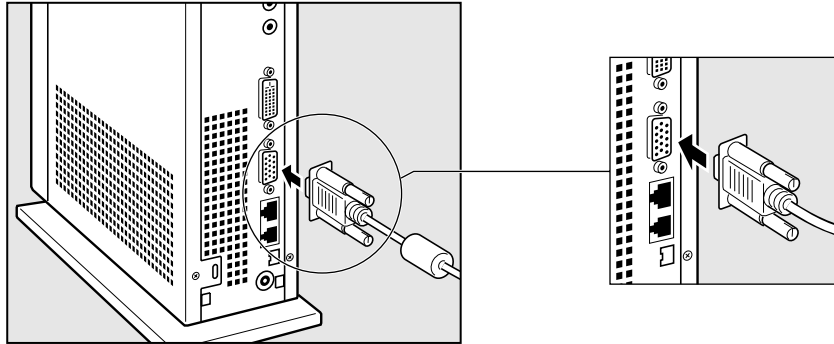
ここでは別売りの 15 型カラーディスプレイ C (PVCRT15C) を例に取り付け／取りはずし方法を説明します。

#### 取り付け

- 1 ディスプレイの電源、本体の電源が切断されていることを確認する
- 2 電源コードをディスプレイ背面にある電源コネクタに差し込む



**3** RGB ケーブルコネクタを本体背面のアナログ RGB コネクタ □ に接続し、固定用ネジを手で回して固定する

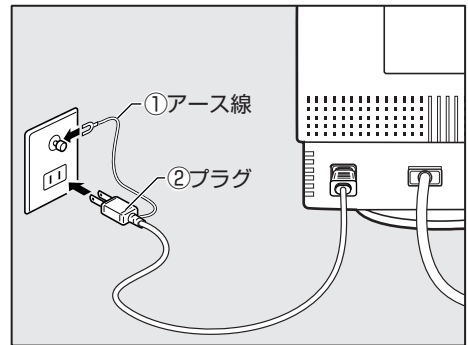


お願い

・固定用ネジは、必ず手で回して固定してください。ドライバなどを使用すると固定用ネジが破損するおそれがあります。

**4** 電源コードのアース線をアース端子に接続する①

**5** 電源コードのプラグを電源コンセント (AC100V) に差し込む②



**注意** ・AC100V 以外のコンセントには差し込まないでください。

**● 取りはずし**

RGB ケーブル、電源コードを、ディスプレイから取りはずす場合は、ディスプレイの電源と本体の電源が切れていることを確認し、取り付けと逆の手順を行なってください。電源コードを取りはずす場合は、(1)プラグ、(2)アース線の順に行なってください。



**注意** ・RGB ケーブルを本体から取りはずす場合は、RGB ケーブルコネクタの固定用ネジを手でゆるめ、固定用ネジがアナログ RGB コネクタから完全にはずれた状態で行なってください。  
固定用ネジがアナログ RGB コネクタに接続された状態で、RGB ケーブルに負荷（無理に引っ張るなど）をかけると、RGB ケーブルの破損、および、本体の故障の原因となります。

## デジタル RGB ディスプレイの接続

ここでは別売りの 15 型フラットパネルディスプレイ J (PVLCD15K) を例に取り付け/取りはずし方法を説明します。

ディスプレイ側のコネクタ、ケーブルの接続については『ディスプレイに付属の説明書』をご覧ください。

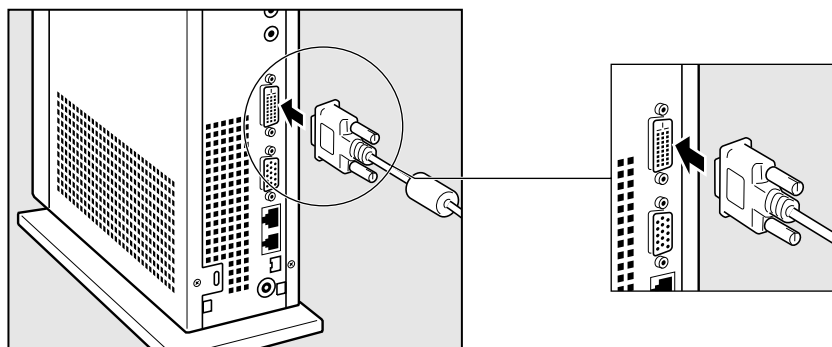


メモ

・デジタル RGB ディスプレイをご使用の場合の最大解像度は 1280 × 1024 となります。

### 取り付け

- 1 ディスプレイの電源、本体の電源が切断されていることを確認する
- 2 ディスプレイに付属の AC アダプタのプラグをディスプレイ背面にある電源コネクタに差し込む
- 3 AC アダプタと電源コードを取り付ける
- 4 デジタル RGB 信号ケーブルコネクタを本体背面の DVI-D コネクタ *DVI* に接続し、固定用ネジを手で回して固定する



お願い

・固定用ネジは、必ず手で回して固定してください。ドライバなどを使用すると固定用ネジが破損するおそれがあります。

- 5 ディスプレイに付属のオーディオケーブルをディスプレイ背面のオーディオ端子と本体背面の LINE OUT 端子 (☎) に接続する



メモ

・ディスプレイの機種によっては、オーディオケーブルが付属しない場合があります。この場合は、別売りのオーディオケーブルを使用する、またはパソコン本体背面の LINE OUT 端子にスピーカを接続してください。

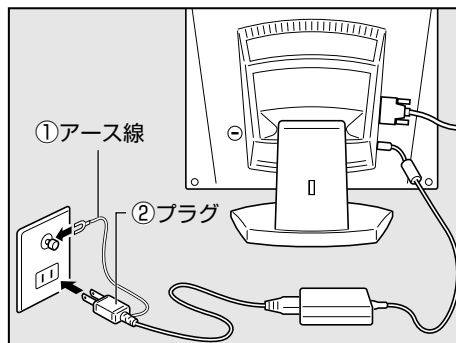
ディスプレイの機種によっては、オーディオ端子がない場合があります。

この場合は、パソコン本体背面の LINE OUT 端子にスピーカを接続してください。

☞ 詳細について ☞ 『ディスプレイに付属の説明書』

**6** 電源コードのアース線をアース端子に接続する①

**7** 電源コードのプラグを電源コンセント (AC100V) に差し込む②



**注意** ・AC100V以外のコンセントには差し込まないでください。

### ● 取りはずし

デジタルRGB信号ケーブル、オーディオケーブル、ACアダプタを、ディスプレイから取りはずす場合は、ディスプレイの電源と本体の電源が切れていることを確認し、取り付けと逆の手順を行なってください。

電源コードを取りはずす場合は、(1)プラグ、(2)アース線、(3)ACアダプタの順に行なってください。




**注意** ・デジタルRGB信号ケーブルを本体から取りはずす場合は、デジタルRGB信号ケーブルコネクタの固定用ネジを手でゆるめ、固定用ネジがDVI-Dコネクタから完全にはずれた状態で行なってください。


固定用ネジがDVI-Dコネクタに接続された状態で、デジタルRGB信号ケーブルに負荷(無理に引っ張るなど)をかけると、デジタルRGB信号ケーブルの破損、および、本体の故障の原因となります。

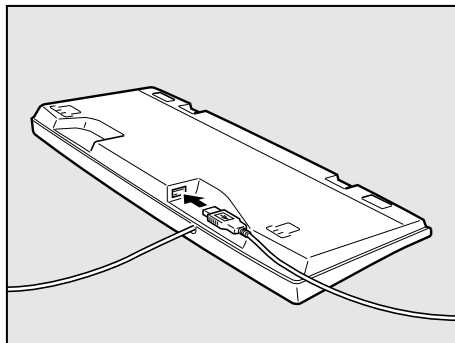
## 4 マウスの接続



**注意** ・マウスの接続は、本体の電源が切れている状態で行なってください。  
・キーボードの USB コネクタは、本製品に付属のマウス以外は接続できません。

- 1 本体の電源が切断されていることを確認する
- 2 キーボードを裏返す
- 3 マウスのプラグを USB コネクタ  に差し込む

プラグに刻印されている USB アイコン  を上側にして、しっかりと奥まで差し込んでください。109A キーボードの場合、USB コネクタは2つ用意されていますので、いずれかの USB コネクタを使用してください。





\*イラストは、109A キーボードの場合です。

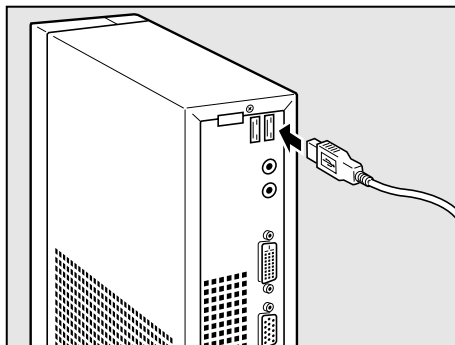
## 5 キーボードの接続



**注意** ・キーボードの接続は、本体の電源が切れている状態で行なってください。

- 1 本体の電源が切断されていることを確認する
- 2 キーボードのプラグを USB コネクタ  に差し込む

プラグに印刷されている USB アイコン  を左にして、しっかりと奥まで差し込んでください。



\*イラストは、本体背面の USB コネクタ 4 に接続する場合です。

## 6 電源への接続

空調機や複写機などの高い消費電力を必要としたり、ノイズを発生させる機器と同じコンセントから電源を取らないでください。

定格電圧	AC100V (50Hz/60Hz)
消費電力	最大60W

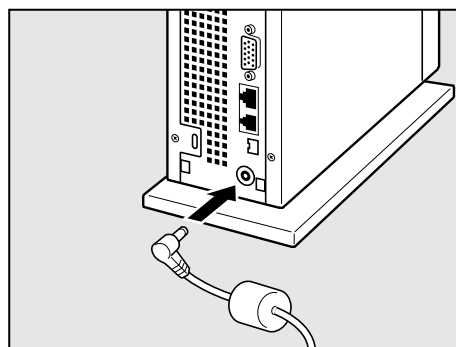


お願い

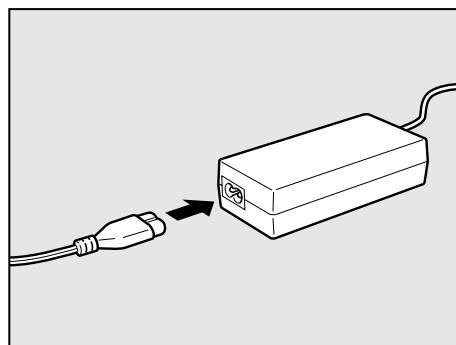
- ・電源への接続は、最後に行なってください。
- ・ACアダプタをパソコン本体に接続しないときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

### 1 ディスプレイの電源スイッチが切断されていることを確認する


### 2 ACアダプタのプラグを本体背面のDCジャックに差し込む



### 3 ACアダプタと電源コードを取り付ける



### 4 電源コードを電源コンセントに接続する

電源コードを接続したら、DC IN ランプ  が緑色に点灯することを確認してください。

電源からはずすときは、電源コード→ACアダプタの順で行なってください。




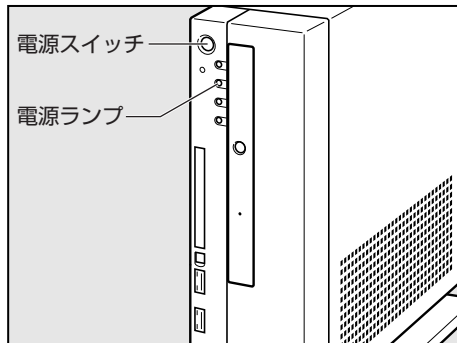
# 4 初めて電源を入れるときは

## 1 電源を入れる

1 ディスプレイなど、接続している周辺機器の電源を入れる

2 本体前面の電源スイッチ  を押す

電源ランプ（本体前面の緑色のランプ） が点灯します。本装置は自動的に電源 ON 時にセルフテストを実行します。



パソコン本体の電源を初めて入れるときは、Windows が使えるようにするために、「Windows セットアップ」という操作が必要です。

1 度 Windows のセットアップをすれば、以降は、電源を入れるとすぐに Windows を使用することができます。

本製品には、次のモデルがあります。

- ・ Windows 2000 モデル
- ・ Windows 98 モデル

セットアップの方法はシステムによって異なります。ご購入のモデルを確認のうえ、システムに応じたセットアップ手順をご覧ください。

## ● セットアップをするときのご注意



- 注意**
- ・ マウスとキーボードが接続されていることを確認してください。接続していないと、セットアップを行うことができません。
  - ・ 増設メモリや PC カードを取り付けたり、プリンタなどを接続していると、正しくセットアップできない場合があります。ディスプレイやマウス、キーボード以外の周辺機器の取り付けや接続はシステムのセットアップ終了後に行なってください。
  - ・ セットアップを行うときは、LAN ケーブルは接続しないでください。LAN ケーブルが接続されていると、ネットワークの設定が既定値 (default) のままネットワークに接続してしまうため、ネットワークに障害をもたらす場合があります。
  - ・ システムのセットアップ中は、絶対に電源を切らないでください。
  - ・ やむをえない場合以外は、セットアップ中にキャンセルしないでください。正しくセットアップできない場合があります。



お願い

- ・ ケーブル類が確実に接続されていることを、もう 1 度確認してください。
- ・ セットアップを行わないと、あらかじめインストールされているシステム (Windows 2000 / 98) やアプリケーションを使用することはできません。
- ・ 「Windows セットアップ」の動作中は、電源を切らないでください。



メモ

- ・15分以上キーを押さない（マウスの操作も含む）場合、省電力機能がはたらき、画面に表示される内容が見えなくなりますが、故障ではありません。電源ランプ<sup>Ⓜ</sup>が点灯している場合は<sup>Ⓜ</sup>[Shift]キー、電源ランプ<sup>Ⓜ</sup>が点滅している場合は<sup>Ⓜ</sup>[Shift]キーまたは電源スイッチを押すと画面に表示されます（4秒以上電源スイッチを押し続けると、電源が切れますので、短く押しください）。
- ・Windows 98 モデルの場合、起動に時間がかかることがあります。これは出荷時に LAN の設定がされているためであり、故障ではありません。
  - ☞ 回避方法
    - ☞ セットアップ終了後、[スタート]メニュー - [はじめに] - [リリース情報]
- ・カスタム・リカバリ CD やリカバリ CD でシステムの復元を行なった場合にも、「Windows セットアップ」の作業が必要です。

## ② Windows 2000 のセットアップ

Windows 2000 のセットアップでは、次のことを行います。

- マイクロソフト 使用許諾契約書（Windows のライセンス）への同意  
マイクロソフト 使用許諾契約書の内容をお読みになり、契約内容に同意するかしないかを選択してください。なお、[同意する]を選択しないと、Windows を使用することはできません。
- ユーザー情報の登録  
名前、会社名または組織名（省略可能）を登録します。
- コンピュータ名の指定  
使用するコンピュータ名と Administrator のパスワードを入力します。  
コンピュータ名の付けかたに関しては、必ずネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 日付と時刻の設定  
[日付と時刻の設定] 画面でパソコンの日付を時刻を設定します。セットアップ後に変更することが可能です。
- ネットワークの設定  
ワークグループまたはドメイン名の設定を行います。  
ネットワークの設定は、必ずネットワーク管理者にお問い合わせください。



お願い

- ・Product Key がパソコン本体に貼られている Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルに印刷されています。  
Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルは、はがしたり傷つけたりなどして、絶対になくさないでください。再発行はできません。  
紛失した場合、マイクロソフト社からの保守が受けられなくなります。

## ● セットアップの操作手順

次の手順に従ってセットアップを行なってください。

初めて電源を入れると、[Windows 2000 セットアップウィザードの開始] 画面が表示されます。

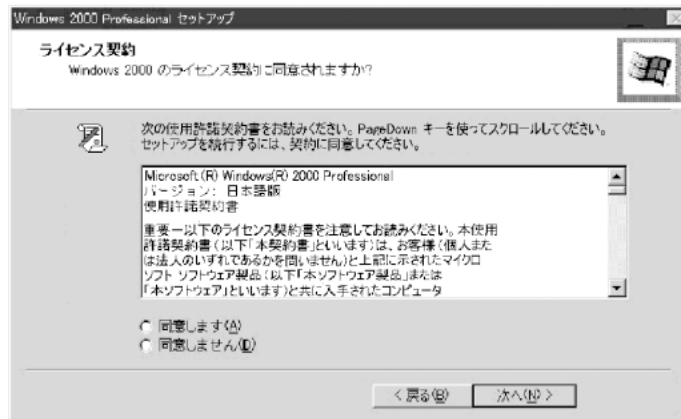


### 1 [次へ] ボタンをクリックする

[ライセンス契約] 画面が表示されます。

契約の内容を必ずお読みください。

表示されていない部分を見るには、▲▼ボタンをクリックするか、[PageUp] キー / [PageDown] キー (109A キーボードの場合)、または [Fn] + [PgUp] キー / [Fn] + [PgDn] キー (テンキー付き小型キーボードの場合) を使って、画面をスクロールさせてください。なお、契約に同意しなければ、セットアップを続けることはできません。



### 2 画面下部の【同意します】をチェックして【次へ】ボタンをクリックする



・ [同意しません] を選択した場合は、次にパソコンを起動したとき、最初からセットアップをやり直す必要があります。

[ソフトウェアの個人用設定] 画面が表示されます。



### 3 名前と組織名を入力する

名前は必ず入力してください。組織名は省略できます。組織名を入力するには、名前の入力後 **[Tab]** キーを押します。



メモ

・日本語入力システムが起動しています。

ひらがなや漢字の入力のしかた

標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。

例：“なかた” または “中田” と入力する場合

#### 1 **[N][A][K][A][T][A]** とキーを押す

“なかた” と表示されます。入力ミスをした場合は、**[BackSpace]** キーを押して入力ミスした文字を削除します。

#### 2 ひらがなのままでよい場合は、**[Enter]** キーを押す

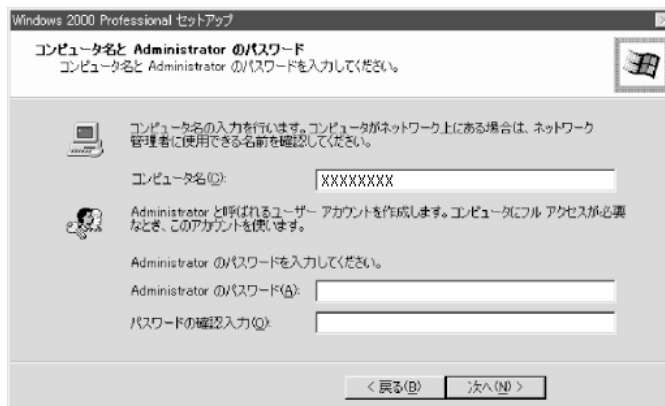
“なかた” で確定されます。

漢字に変換する場合は **[Space]** キーを押し、目的の漢字が表示されたら、**[Enter]** キーを押す

**[Space]** キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。**[Enter]** キーを押すと、選択した漢字で確定します。

### 4 [次へ] ボタンをクリックする

[コンピュータ名と Administrator のパスワード] 画面が表示されます。



## 5 コンピュータ名と Administrator のパスワードを入力する

コンピュータ名の付けかたに関しては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

Administrator と呼ばれるユーザ名を作成します。コンピュータにフルアクセスする場合に使用します。パスワードには半角の英数字および記号を使用することができます。



お願い

・パスワードは大文字と小文字が区別されますので注意してください。  
例えば、「PASSWORD」と「password」は別のパスワードとして識別されます。

## 6 [次へ] ボタンをクリックする

[日付と時刻の設定] 画面が表示されます。



## 7 [日付と時刻] の設定をする

日付と時刻を確認します。

タイムゾーンで「(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京」が選択されていることを確認します。「(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京」が選択されていない場合は▼ボタンをクリックし、一覧から選択してください。

## 8 [次へ] ボタンをクリックする

[ネットワークの設定] 画面が表示されます。



## 9 ネットワークの設定をする

ネットワークの設定はネットワーク管理者にお問い合わせください。  
標準設定またはカスタム設定のどちらかを選択してください。



メモ

- ・標準設定：Microsoft ネットワーククライアント、Microsoft ネットワークのファイルとプリンタの共有サービス、アドレスを自動的に指定する TCP/IP トランスポートプロトコルを使ってネットワーク接続を作成します。
- ・カスタム設定：手でネットワークコンポーネントを構成することができます。

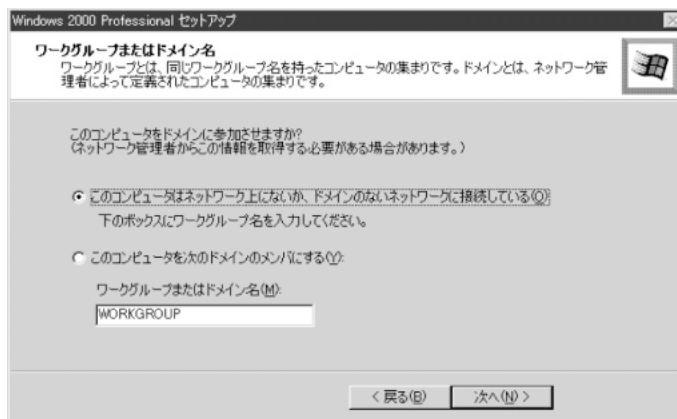


お願い

- ・お使いのネットワーク環境によって設定が異なりますので、ネットワークの設定は必ずネットワーク管理者にお問い合わせください。

## 10 [次へ] ボタンをクリックする

[ワークグループまたはドメイン名] 画面が表示されます。



## 11 ワークグループまたはドメイン名の設定をする

ワークグループまたはドメイン名の設定はネットワーク管理者にお問い合わせください。  
ワークグループまたはドメインのどちらかを選択してください。  
選択後、[ワークグループまたはドメイン名] にワークグループ（ドメイン）名を入力してください。



お願い

- ・お使いのネットワーク環境によって設定、およびワークグループ（ドメイン）名が異なります。必ずネットワーク管理者にお問い合わせください。

## 12 [次へ] ボタンをクリックする

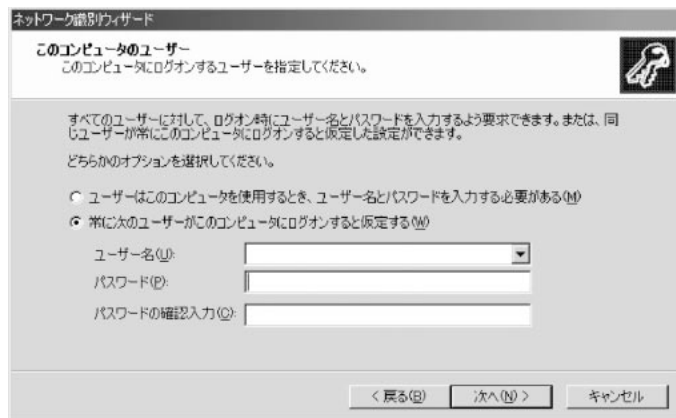
設定を保存後、再起動します。再起動後に [ネットワーク識別ウィザードの開始] 画面が表示されます。

ここで、コンピュータをネットワークに接続する手続きをします。



## 13 [次へ] ボタンをクリックする

[このコンピュータのユーザー] 画面が表示されます。



## 14 ユーザの設定をする

このコンピュータで使用するユーザを指定します。

- 「ユーザーはこのコンピュータを使用するとき、ユーザー名とパスワードを入力する必要がある」  
..... 指定したユーザでパスワードを入力してからログオンします。
- 「常に次のユーザーがコンピュータにログオンすると仮定する」  
..... 指定したユーザで自動的にログオンします。  
ここで指定できるユーザは手順3で入力した名前、あるいは Administrator です。  
▼ボタンをクリックして選択してください。

## 15 [次へ] ボタンをクリックする

[ネットワーク識別ウィザードの終了] 画面が表示されます。

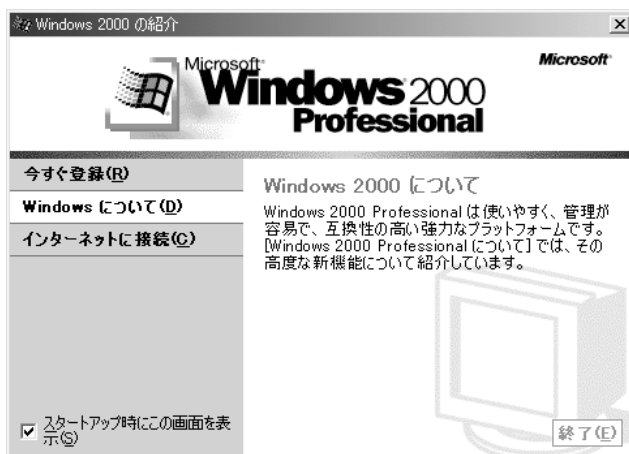


## 16 [完了] ボタンをクリックする

Windows 2000 のセットアップを完了しました。

手順 14 で「ユーザーはこのコンピュータを使用するとき…」を選択した場合、[Windows へログオン] 画面が表示されます。Administrator のパスワードを入力して [OK] ボタンをクリックすると、Administrator でログオンし、[Windows 2000 の紹介] 画面が表示されます。

手順 14 で「常に次のユーザーがコンピュータに…」を選択した場合、指定されたユーザー (Administrator または例: 中田) で自動的にログオンし、[Windows 2000 の紹介] 画面が表示されます。







メモ

- ・ [Windows 2000の紹介] の下部にあるチェックボックス (スタートアップ時にこの画面を表示) をクリックしてチェックを解除すると、次に Windows 2000 が起動したときは [Windows 2000の紹介] は表示されません。
  - ☞ [Windows 2000の紹介] 画面を再表示する方法 ⇨ 『Windows 2000のヘルプ』
- ・ ご購入時は、次のようなパーティションがハードディスクに作成されています。
  - C ドライブ : NTFS システム
- ・ 東芝とマイクロソフト社へのユーザ登録を行なってください。
  - ☞ ユーザ登録 ⇨ 「本節 4 ユーザ登録をする」

## ● Windows の使いかた

Windows の使いかたについては、『マイクロソフト ウィンドウズ 2000 プロフェッショナル クイックスタートガイド』、または [スタート] - [ヘルプ] をクリックして、『Windows 2000 のヘルプ』をご覧ください。

### 3 Windows 98 のセットアップ

Windows 98 のセットアップでは次のことを行います。

- ユーザー情報の登録  
名前とふりがな（省略可能）を登録します。
- マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書（Windows のライセンス）  
マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書の内容をお読みになり、契約内容に同意するかしないかを選択してください。なお、[同意する] を選択しないと、Windows を使用することはできません。
- 日付と時刻の設定  
[日付と時刻のプロパティ] 画面の [日付と時刻] タブで、パソコンの日付と時刻を設定します。セットアップ後に変更することが可能です。

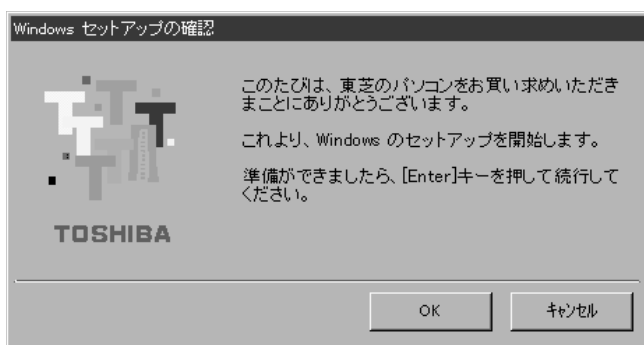


お願い

- ・ Product Key がパソコン本体に貼られている Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルに印刷されています。  
Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルは、はがしたり傷つけたりなどして、絶対になくさないでください。再発行はできません。  
紛失した場合、マイクロソフト社からの保守が受けられなくなります。

## ● セットアップの操作手順

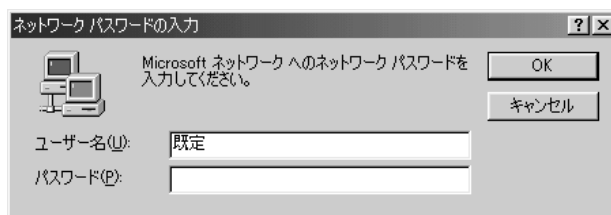
初めて電源を入れると、[Windows セットアップの確認] 画面が表示されます。



### 1 [Enter] キーを押す

Windows のセットアップが開始されます。

パソコンが再起動し、[ネットワークパスワードの入力] または [Windows パスワードの入力] 画面が表示されます。



## 2 ユーザー名を入力する

[Shift] + [Tab] キーを押すと、カーソルがユーザー名に移動します。

[Delete] キーを押して「既定」を削除します。

ユーザー名はひらがな、漢字、半角英数文字が使用できます。

ひらがなや漢字を入力するには、MS-IME を起動します。MS-IME とは、かなや漢字を入力するための日本語入力システムです。[半角/全角]キー（MS-IME2002 の場合）または [Alt] + [半角/全角] キー（MS-IME98 の場合）を押してください。



メモ

・ひらがなや漢字の入力のしかた

標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。

例：“なかた” または “中田” と入力する場合

1 [N][A][K][A][T][A] とキーを押す

“なかた” と表示されます。入力ミスをした場合は、[BackSpace] キーを押して入力ミスした文字を削除します。

2 ひらがなのままでよい場合は、[Enter] キーを押す

“なかた” で確定されます。

漢字に変換する場合は [Space] キーを押し、目的の漢字が表示されたら、[Enter] キーを押す

[Space] キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。[Enter] キーを押すと、選択した漢字で確定します。

## 3 パスワードを入力する

ユーザー名が入力が終わった後、[Tab] キーを押します。

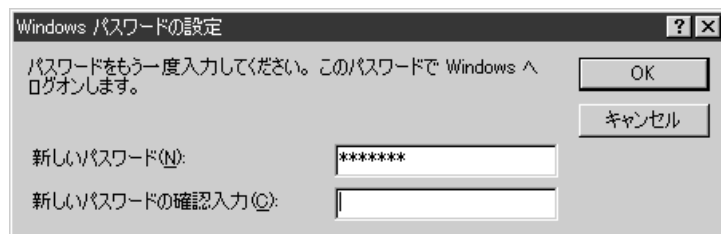
パスワードには半角の英数文字および記号を使用することができます。4～8文字を目安に設定してください。

入力したパスワードは「\*\*\*\*」で表示されます。

パスワードは間違いのないように入力してください。入力ミスをした場合は、

[BackSpace] キーを押して入力ミスした文字を削除します。パスワードの入力が終わったら、[OK] ボタンをクリックします。

[Windows パスワードの設定] 画面が表示されます。



## 4 登録したパスワードをもう 1 度入力し、[OK] ボタンをクリックする

入力したパスワードが間違っている場合は、メッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックしてメッセージを消した後、パスワードをもう 1 度入力し直してください。



メモ

・登録したパスワードを正しく入力できない場合

- 1 [Delete] キーで [新しいパスワードの確認入力] のパスワードをすべて削除する
- 2 [Shift] + [Tab] キーを押す  
カーソルが [新しいパスワード] に戻ります。
- 3 [Delete] キーを押して、いったんパスワードをすべて削除する
- 4 新しいパスワードを入力する
- 5 [Tab] キーを押す
- 6 [新しいパスワードの確認入力] に同じパスワードを入力する
- 7 [OK] ボタンをクリックする

新しいハードウェアの検出が始まります。

[システム設定の変更] 画面で「再起動しますか?」と表示された場合は、[はい] ボタンをクリックしてください。

パソコンが再起動します (多少時間がかかる場合があります)。

再起動後、[ネットワークパスワードの入力] 画面が表示されます。

## 5 登録したパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックする [よろこそ] 画面が表示されます。



## 6 [Esc]キーを押す

MS-IMEのチュートリアルに進み、入力の練習を行う場合は[M]キーを押してください。入力の練習を行わなかった場合、または練習が終了したあとに、[Windows 98へようこそ]画面が表示されます。



## 7 名前とふりがなを入力する

名前は必ず入力してください。ふりがなは省略できます。ふりがなを入力するには、名前を入力した後、[Tab]キーを押します。

ひらがなや漢字を入力するには、日本語入力システム (MS-IME) を起動します。

[半角/全角]キー (MS-IME2002の場合) または [Alt] + [半角/全角]キー (MS-IME98の場合) を押してください。

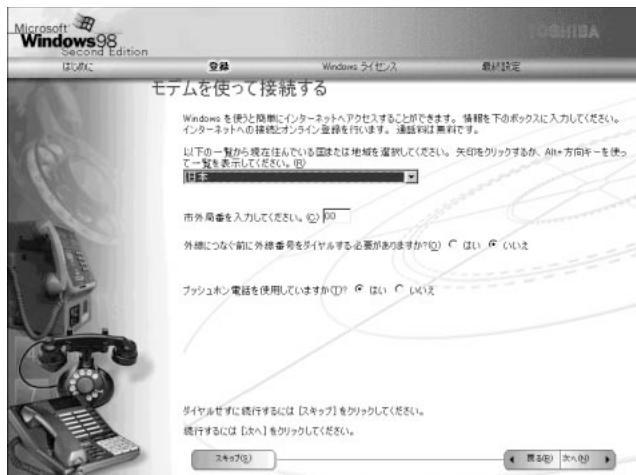
## 8 [次へ] ボタンをクリックする

モデムが内蔵されていないモデルは、手順10の [Windows ユーザ使用許諾契約] 画面が表示された後の手順に進んでください。

[モデムを使って接続する] 画面が表示されます。

ここではインターネット (モデム) への接続は行いません。

インターネットへの接続とオンライン登録は、セットアップ終了後に行えます。



## 9 [スキップ] ボタンをクリックする

[ダイヤルのキャンセル] 画面が表示されます。



## 10 画面の [はい] をチェック (左側の○印をクリック) して、[次へ] ボタンをクリックする

[Windows ユーザー使用許諾契約] 画面が表示されます。

契約内容を、必ずお読みください。

表示されていない部分を見るには、▲▼ボタンをクリックするか、[PageUp]キー/[PageDown]キー (109A キーボードの場合)、または [Fn] + [PgUp] キー/[Fn] + [PgDn] キー (テンキー付き小型キーボードの場合) を使って画面を動かしてください。

なお、契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。



## 11 画面の【同意する】をチェック（左側の○印をクリック）して、【次へ】ボタンをクリックする

【セットアップの完了】画面が表示されます。



## 12 【完了】ボタンをクリックする

【日付と時刻のプロパティ】画面が表示されます。



## 13 【日付】と【時刻】が正しく設定されているか確認する

正しく設定されていない場合は設定してください。設定後、【適用】ボタンをクリックすると、日付および時刻の設定が確定され、パソコンの時計が動作します。

## 14 【タイムゾーン】で「(GMT+09:00) 東京、大阪、札幌」が選択されていることを確認する

「(GMT+09:00) 東京、大阪、札幌」が選択されていない場合は、▼ボタンをクリックし、一覧から選択してください。

## 15 【閉じる】ボタンをクリックする

【日付】、【時刻】、【タイムゾーン】を変更した場合は、【OK】ボタンをクリックしてください。Windows のセットアップが終了し、Windows のデスクトップ画面が表示されます。



メモ

・東芝とマイクロソフト社へのユーザ登録を行なってください。

ユーザ登録 ⇨ 「本節 4 ユーザ登録をする」

## ● Windows の使いかた

Windows の使いかたについては、同梱されている『ファーストステップガイド Microsoft Windows 98 SECOND EDITION』をご覧ください。

## 4 ユーザ登録をする

東芝へのユーザ登録およびマイクロソフト社へのユーザ登録は必ず行なってください。登録はそれぞれ行う必要があります。登録を行わないと、今後のサポートを受けられない場合があります。

インターネットをご利用になるには、プロバイダとの契約が必要です。

LAN を使ってインターネットをご利用になる場合は、ネットワーク管理者にご確認ください。

## ● 東芝へのユーザ登録

同梱されている登録はがき、またはインターネットで登録できます。

### インターネットで登録する場合

インターネットに接続するための設定を行なった後、次のアドレスを入力し、表示された画面から登録を行う

[http://www3.toshiba.co.jp/tpmc/userj/index\\_j.htm](http://www3.toshiba.co.jp/tpmc/userj/index_j.htm)

## ● マイクロソフト社へのユーザ登録

同梱されている登録はがきで登録できます。

また、インターネットでも登録できます。

### インターネットで登録する場合

インターネットに接続するための設定を行なった後、次のように登録します。

#### ● Windows 2000 の場合

[スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [はじめに] で [今すぐ登録] をクリックする

#### ● Windows 98 の場合

[スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [Windows へようこそ] で [今すぐ登録] をクリックする



# 2

## 電源の入れかたと切りかた

本章では、パソコン本体の電源の入れかたと切りかたについて説明します。


<b>1</b>	電源の入れかた .....	42
<b>2</b>	電源の切りかた .....	43
<b>3</b>	省電力機能について .....	44

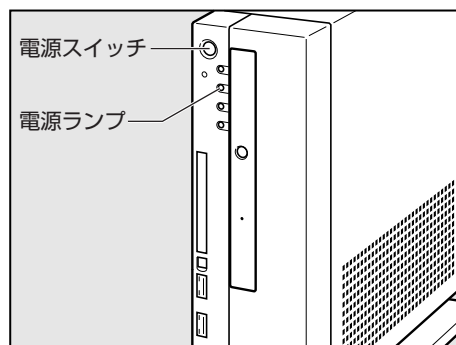
# 1 電源の入れかた

ここでは、Windows のセットアップを終えた後、電源を入れる方法について説明します。

## 1 ディスプレイなど、接続している周辺機器の電源を入れる

## 2 本体前面の電源スイッチ を押す

電源ランプ（本体前面の緑色のランプ） が点灯します。本装置は自動的に電源 ON 時にセルフテストを実行します。





メモ

- ・パソコン本体が起動すると、自動的にパソコン内部のテストを行います。これをセルフテストといいます。セルフテストによって、エラーが発見される場合があります。
  - ☞ セルフテストでのエラーの対処方法について ⇨ 「付録 3 エラーメッセージ」
- ・起動可能な CD をセットしたまま電源を入れると、ハードディスクドライブからシステムが起動しません。  
CD を取り出して、もう 1 度電源を入れてください。

## 2 電源の切りかた

電源を切る方法はシステムによって異なります。  
お使いのシステムを確認のうえ、次の手順に従って電源を切ってください。

### ● 電源切断時のお願い

- 電源を切ったあと、もう1度電源を入れる場合は、5秒以上たってから入れてください。5秒以上経過していない場合は、誤動作することがあります。
- アプリケーションソフトが起動しているときは、終了処理を行なってシステムに戻してください  
☞ アプリケーションソフトの終了 ☜ 『各アプリケーションソフトに付属の説明書』
- システムの異常などで強制的に電源を切りたい場合は、電源スイッチを4秒以上押し続けてください。電源が切れます。その際、データは消失する可能性があります。
- HDDアクセスランプ 、CDアクセスランプ  が消えていることを確認してください。

### 1 Windows 2000 の場合

- 1 [スタート] - [シャットダウン] をクリックする
- 2 [Windowsのシャットダウン] 画面で、ドロップダウンリストから [シャットダウン] を選択し、[OK] ボタンをクリックする
- 3 ディスプレイなどの、本装置に接続している周辺機器の電源を切る

### 2 Windows 98 の場合

- 1 [スタート] - [Windowsの終了] をクリックする
- 2 [電源を切れる状態にする] が選択されていることを確認し、[OK] ボタンをクリックする
- 3 ディスプレイなどの本装置に接続している周辺機器の電源を切る

# 3 省電力機能について

## 1 省電力機能について


省電力機能とは、パソコンのシステム、ハードディスクドライブ、ディスプレイなどを省電力モードにして消費電力を抑制する機能です。

省電力モード中は、次の状態になります。



お願い

・省電力モードでも一定の電力を消費しています。長時間使用しない場合は、1度省電力状態を解除してから Windows を終了してください。

省電力モード	本体の電源ランプ 	ディスプレイの電源表示ランプ	システム／アプリケーション
システムがスタンバイのとき	緑色に点滅	オレンジ色に点灯	停止する
システムが休止状態のとき (Windows 2000のみ)	消灯	オレンジ色に点灯	停止する
ディスプレイが省電力モードのとき	緑色に点灯	オレンジ色に点灯	停止しない
ハードディスクドライブが省電力モードのとき	緑色に点灯	緑色に点灯	停止しない

本装置にあらかじめインストールされている Windows には、省電力機能が用意されています。設定されている情報に従って、省電力機能を作動させることができます。ここでは、本装置と Windows の省電力機能について簡単に紹介します。



メモ

・ディスプレイの電源表示ランプの状態は、ディスプレイにより異なります。

## ② 省電力モードについて

本装置にある省電力モードとその動作は次のとおりです。

ディスプレイ	画面表示が消えます。
ハードディスクドライブ	モータの回転を停止します。
モデム接続 (インターネットへの接続) *モデム内蔵モデルのみ	切断します。
LAN接続 (ネットワークへの接続)	切断します。
PCカード	停止します。
USB対応機器	停止します。 キーボード、マウスも停止します。
i.LINK (IEEE1394) 対応機器	停止します。



メモ

・接続しているPCカード、USB対応機器、i.LINK (IEEE1394) 対応機器によっては正常にスタンバイ状態に移行しない、またはスタンバイ状態から通常モードへ復帰しない場合があります。動作に問題が生じる場合はBIOSセットアップの [Power Management Setup] で [ACPI Standby State] を [S1/POS] に設定してください。

☞ BIOSセットアップ ☞ 「7章 BIOSセットアップについて」

### ● スタンバイ

本装置の消費電力を抑制します。通常モードへの復帰は、多少時間がかかります。また、ネットワークに接続していない場合は時間がかかることがあります。

### ● 休止状態 (Windows 2000)

本装置の消費電力を最小限に抑制します。休止状態に移行する直前の状態をハードディスクに保存します。通常モードへ復帰するとき、休止状態に移行する直前の状態を再現します。通常モードへの復帰は、多少時間がかかります。休止状態に移行させるには、あらかじめ設定が必要です。

### 3 省電力モードへの移行 (Windows 2000)

設定された時間内にマウスまたはキーボードでの操作がない場合、自動的に省電力モードに移行します。

省電力モードに移行するまでの時間の設定方法は、次のとおりです。

#### ● システムの省電力機能

Windows 2000 のシステムの省電力機能には、スタンバイモードと休止状態があります。

##### ● スタンバイモード

- 1 [コントロールパネル] を開き、[電源オプション] アイコンをダブルクリックする
- 2 [電源オプションのプロパティ] の [電源設定] タブの [システムスタンバイ] で時間を選択する

初期値は [25 分後] です。

省電力機能を設定しない場合は、[なし] を選択してください。



メモ

・システムをスタンバイモードにすると、モデム接続、LAN 接続は切断され、取り付けられている PC カード、USB 対応機器、i.LINK (IEEE1394) 対応機器の動作は停止します。

手動でシステムのスタンバイモードに移行させることもできます。

操作方法は次のとおりです。

##### ● キーボードのスリープスイッチを押す

\* 109A キーボードの場合のみ

キーボードのスリープボタンを押してスタンバイモードに移行させるには、[コントロールパネル] の [電源オプション] の [詳細] タブにある [コンピュータのスリープボタンを押したとき] で [スタンバイ] に設定しておいてください。初期値は [スタンバイ] です。

##### ● [スタート] メニューからの実行

- ① [スタート] ボタンをクリックし、[シャットダウン] をクリックする
- ② [スタンバイ] をクリックし、[OK] ボタンをクリックする

##### ● 電源スイッチを短く押す

電源スイッチを短く押すことによってスタンバイモードに移行させることができます。電源スイッチを 4 秒以上押すと電源が切れ、作成中のデータが消失するおそれがありますので、電源スイッチは短く押してください。

電源スイッチを押してスタンバイモードに移行させるには、[コントロールパネル] の [電源オプション] の [詳細] タブにある [コンピュータの電源ボタンを押したとき] で [スタンバイ] に設定しておいてください。初期値は [スタンバイ] です。

## ● 休止状態



・ 休止状態を実行するには、あらかじめ [電源オプションのプロパティ] の [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックして [OK] ボタンをクリックしてください。初期値では、チェックされています。

### 1 [コントロールパネル] を開き、[電源オプション] アイコンをダブルクリックする

### 2 [電源オプションのプロパティ] の [電源設定] タブの [システム休止状態] で時間を選択する

初期値は [なし] です。

省電力機能を設定しない場合は、[なし] を選択してください。



・ システムを休止状態にすると、モデム接続、LAN 接続は切断され、取り付けられている PC カード、USB 対応機器、i.LINK (IEEE 1394) 対応機器の動作は停止します。

手動でシステムの休止状態に移行させることもできます。

操作方法は次のとおりです。

#### ● キーボードのスリープスイッチを押す

\* 109A キーボードの場合のみ

キーボードのスリープボタンを押して休止状態に移行させるには、[コントロールパネル] の [電源オプション] の [詳細] タブにある [コンピュータのスリープボタンを押したとき] で [休止状態] に設定しておいてください。初期値は [スタンバイ] です。

#### ● [スタート] メニューからの実行

① [スタート] ボタンをクリックし、[シャットダウン] をクリックする

② [休止状態] をクリックし、[OK] ボタンをクリックする

#### ● 電源スイッチを短く押す

電源スイッチを短く押すことによって休止状態に移行させることができます。

電源スイッチを 4 秒以上押すと電源が切れ、作成中のデータが消失するおそれがありますので、電源スイッチは短く押してください。

電源スイッチを押して休止状態に移行させるには、[コントロールパネル] の [電源オプション] の [詳細] タブにある [コンピュータの電源ボタンを押したとき] で [休止状態] に設定しておいてください。初期値は [スタンバイ] です。

## 2

電源の  
入れかた  
と切りかた

## ● ディスプレイの省電力機能

### 1 [コントロールパネル] を開き、[電源オプション] アイコンをダブルクリックする

### 2 [電源オプションのプロパティ] の [電源設定] タブの [モニタの電源を切る] で時間を選択する

初期値は [15 分後] です。

省電力機能を設定しない場合は、[なし] を選択してください。

## ● ハードディスクドライブの省電力機能

- 1 [コントロールパネル] を開き、[電源オプション] アイコンをダブルクリックする
- 2 [電源オプションのプロパティ] の [電源設定] タブの [ハードディスクの電源を切る] で時間を選択する  
初期値は [20 分後] です。  
省電力機能を設定しない場合は、[なし] を選択してください。

## 4 省電力モードへの移行 (Windows 98)

設定された時間内にマウスまたはキーボードでの操作がない場合、自動的に省電力モード (スタンバイ) に移行します。  
省電力モードに移行するまでの時間の設定方法は、次のとおりです。

## ● システムの省電力機能

Windows 98 のシステムの省電力機能には、スタンバイモードがあります。

### ● スタンバイモード

- 1 [コントロールパネル] を開き、[電源の管理] アイコンをダブルクリックする
- 2 [電源の管理のプロパティ] の [電源設定] タブの [システムスタンバイ] で時間を選択する  
初期値は [25 分後] です。  
省電力機能を設定しない場合は、[なし] を選択してください。



メモ

・システムをスタンバイモードにすると、モデム接続、LAN 接続は切断され、取り付けられている PC カード、USB 対応機器、i.LINK (IEEE1394) 対応機器の動作は停止します。

手動でシステムのスタンバイモードに移行させることもできます。  
操作方法は次のとおりです。

- キーボードのスリープスイッチを押す

\* 109A キーボードの場合のみ

- [スタート] メニューからの実行

- ① [スタート] ボタンをクリックし、[Windows の終了] をクリックする
- ② [スタンバイ] をクリックし、[OK] ボタンをクリックする

- 電源スイッチを短く押す

電源スイッチを短く押すことによってスタンバイモードに移行させることができます。  
電源スイッチを 4 秒以上押すと電源が切れ、作成中のデータが消失するおそれがありますので、電源スイッチは短く押してください。

電源スイッチを押してスタンバイモードに移行させるには、[コントロールパネル] の [電源の管理] の [詳細] タブにある [コンピュータの電源ボタンを押したとき] で [スタンバイ] に設定しておいてください。初期値は [スタンバイ] です。



## ● ディスプレイの省電力機能

- 1 [コントロールパネル] を開き、[電源の管理] アイコンをダブルクリックする
- 2 [電源の管理のプロパティ] の [電源設定] タブの [モニタの電源を切る] で時間を選択する  
初期値は [15 分後] です。  
省電力機能を設定しない場合は、[なし] を選択してください。

## ● ハードディスクドライブの省電力機能

- 1 [コントロールパネル] を開き、[電源の管理] アイコンをダブルクリックする
- 2 [電源の管理のプロパティ] の [電源設定] タブの [ハードディスクの電源を切る] で時間を選択する  
初期値は [20 分後] です。  
省電力機能を設定しない場合は、[なし] を選択してください。

## 5 省電力モードからの復帰

### ● スタンバイモードからの復帰

システムのスタンバイモードから復帰するには、次の操作を行なってください。

- 電源スイッチを短く押す

電源スイッチを短く押すことによってスタンバイモードから復帰させることができます。電源スイッチを 4 秒以上押すと電源が切れ、作成中のデータが消失するおそれがありますので電源スイッチは短く押してください。

- キーボード入力をする

ディスプレイまたはハードディスクドライブのスタンバイモードから復帰するには、次の操作を行なってください。

- マウスを操作する
- キーボード入力をする

### ● 休止状態からの復帰

休止状態から復帰するには、次の操作を行なってください。

- 電源スイッチを短く押す

電源スイッチを短く押すことによって休止状態から復帰させることができます。電源スイッチを 4 秒以上押すと電源が切れ、作成中のデータが消失するおそれがありますので電源スイッチは短く押してください。

